



正・副議長 就任あいさつ

去る六月 定例会におい... 中島副議長... 木橋議長...

市民各位の御指導、御支援を賜わり... 日ごろ市議会にお寄せいただいで...

去る六月、すなわち教育環境の整備につ... 定例会においては、小中学校の長期計画構想も...

3・6月定例会審議日程

3月定例会

- 三月十一日(本会議) 決算特別委員長報告、質疑、討論、採決...

6月定例会

- 六月二十一日(本会議) 議長選挙、副議長選挙、議案上程、説明、質疑、委員会付託...

3・6月定例会 5・8月臨時会 可決議案

Table with 2 columns: 議案名 (Proposal Name) and 内容 (Content). Lists various municipal resolutions and their details.

三月定例会

昭和五十七年第二回定例会市議会は、三月十一日から二十四日まで会期十四日間をもって行なわれ、常任委員会委員の所属変更、閉会中の継続審査に付された昭和五十五年度小浜市一般会計外七特別会計決算の認定、昭和五十七年度小浜市政の基本方針となる一般、特別、企業

(問) ごみ収集委託について、昨年業者に委託したが、サービスの点、経済効果など、住民の反応はどうか。
 (答) たいした苦情もなく、良好な経過をたどっている。
 (問) 児童館について、将来公民館のように各地区に一館ずつ建設されるような予定があるのか。
 (答) 内外海と中名田に建設しており、あと高川と加斗というように、東西南北の形で進めたい。それ以上については今後の課題としたい。
 (問) 千種の駐車場を売却するということだが、どうい理由で今回売却するのか。
 (答) 当初は不特定多数の皆さまに利用してもらうことを目的として設置したが、現在は特定の方々の駐車場に変わりつつあり、有料にするか、むしろ払い下げすべきであるとの意見が高まり、この際、隣接の人を優先するということ形で売却したい。

(問) 文化会館のエレベーターについて、かねてよりエレベーターの要望が非常に強かったが、今年度予算化された特別な理由があるのか。
 (答) 最近ではエレベーターが非常に普及し、お年寄りの方でも操作をされるようになり、また、昨年の国際障害者年を契機として、障害者の方々への対策、特に公共施設の対策が非常に重視される時代に対応しての新設である。

六月定例会

十三会計予算、小浜市公の施設の管理委託に関する条例の制定外条例の制定、改正九件など二十八議案をそれぞれ認定、可決いたしました。
 また、固定資産評価審査委員会委員に木村徳太郎氏を選任することに同意をいたしました。
 この定例会に皆さま方から提出され採択となった陳情は、雲浜公民館新設について、「北横見坂、検見坂、池田地籍の上水道施設拡張について」、「市道

理、清掃と色々な作業があり、パトロールの時間給の作業員、日給月給の作業員、月給の職員というふうにして対処したい。
 (問) 農村総合整備事業の将来的な見通しはどうか。
 (答) 農業生産者整備事業という農道整備、農村環境整備整備事業として集落排水施設の整備、管線排水用給水の給水整備、集落の防災安全施設整備、農村公園といった事業で、総事業費十五億二、三〇〇万円を予定している。
 (問) 外港に建設される小浜流通センター株式会社は、株主はどうか。
 (答) 漁業組合の事務所等その他の施設は、所等その他の施設はどうか。
 (問) 第三セクターと青果物を中心とした総合振興市場として開設するもので、昭和五十七年度設計、五十八年度建設にかりたい。荷さばき所については、現在漁連が開設しているものを五十七年から三カ年をかけた実施の計画を立てている。
 (問) 北陸自動車道敦賀インターと近畿自動車道鶴舞線をつなぐ、若狭・丹後自動車道建設のための同盟会を作る考えはないのか。

(問) 市街地再開発事業調査委託料については、どのような目的の調査か。
 (答) 昭和五十三年に商業近代化計画が策定され、白鬚地区を中心とした計画を進めるには、エミヤから海岸線までの間の道路を拡張しなればならず、昨年六月十六メートルで都市計画街路に決定し、商業近代化と同時にこの都市計画の道路を進めるとなる。市街地再開発事業で行なうという手法となる。このためには所定の調査が必要で、白鬚地区を中心に六ヘクタールの調査を行なうものである。
 (問) 公共施設管理公社を設立したいということだが、どういう形で運営していくのか。
 (答) 公社職員と市からの出向職員二、三名、合わせて十人から十二人進めてみたいが、修

本保三号線拡幅改良及び舗装について三件です。
 本保三号線拡幅改良及び舗装に
 員、副議長に中島議員が選出されました。
 また、公立小浜病院組合議員、若狭消防組合議員のうち、本市より選出の中島、木橋議員が辞職したことに伴って補欠選挙が行われ、公立小浜病院組合議員が議員に藤田務議員、若狭消防組合議員には藤下議員がそれぞれ当選いたしました。
 市長より提案された案件は、二企業会計決算、一般会計補正

昭和三十七年第四回定例会市議会は、六月十一日開会され、会期を二十八日までの八日間と決定。まず、中澤議長、藤田務副議長が辞職に伴って正副議長の選挙が行われ、議長に木橋議

(答) 福井県が重点目標として取り上げ、強力な陳情が行なわれており、新たに同盟会を作る必要はないと考えている。
 (問) 小浜市総合開発基本構想の中に、南北時代の都市づくりというよきな新しいことばが入っているが、これはどういことなのか。
 (答) 福井県も似た近畿二府六県の知事会の話題の中で出たことばで、小浜から京都、湖沼までが一つの直線で結ばれ、そういった線の中で、近畿の中で小浜市の発展も考えていかねばならないというところ、南北軸という表現を使った。
 (問) 国民健康保険条例の一部改正で、今回改正されると相当大きな増税となるような新聞発表されているが、どのような見通しなのか。
 (答) この条例改正による減税もたくさんあり、増税と減税相殺すると基本的には減税措置のほうが多く、世帯割りを別に大体一人当たり月百円の増税を目としている。
 (問) 奈良市、廣州市との親善野球場大会は、今後も続けていくのか。
 (答) 奈良と小浜の場合は定期的に続けたいが、廣州については他の球技もあり、体協とも相談し少し見直しをした

子算外特別会計補正予算、小浜市市税条例の一部改正外条例の一部改正五件など、二十二議案をそれぞれ認定、可決いたしました。
 また、公平委員会委員に福井丈夫氏、嶋田清次郎氏を選任することに同意、人権擁護委員に山森一男氏を推薦することに同意をいたしました。
 議会では、「地方議会議員選挙における選挙運動期間短縮に関する意見書」、「昭和五十七年度産生産者米価と米穀対策に関する意見書」を可決。それぞれ関係機関に意見書を提出することにも、「第九次道路整備五カ年計画の策定に関する要望決議」、「北陸幹線大阪からの同時着工に関する要望決議」を可決し、機関意見を決定いたしました。

主な案件と質疑

(問) 市民健康保険条例の一部改正で、今回改正されると相当大きな増税となるような新聞発表されているが、どのような見通しなのか。
 (答) この条例改正による減税もたくさんあり、増税と減税相殺すると基本的には減税措置のほうが多く、世帯割りを別に大体一人当たり月百円の増税を目としている。
 (問) 奈良市、廣州市との親善野球場大会は、今後も続けていくのか。
 (答) 奈良と小浜の場合は定期的に続けたいが、廣州については他の球技もあり、体協とも相談し少し見直しをした

五月臨時会

昭和五十七年第三回臨時会は五月七日開会され、専決された昭和五十六年度一般会計補正予算、市税条例の一部改正、都市計画条例の一部改正をそれぞれ承認、昭和五十七年度一般会計補正予算を可決し、閉会いたしました。

八月臨時会

昭和五十七年第五回臨時会は八月十日招集され、会期を一日と決定、市長より提案の後瀬町に建設する公営住宅及び後瀬団地集会所新築工事の請負契約について、これを可決し閉会いたしました。

隣接町村との振興協議会

小浜・名田庄

一、一六二号線の拡幅改良
 小浜間の国道昇格促進
 (湯阿橋合
 二、国道二十七号線の拡幅改良

小浜・大飯

一、主要地方道綾部・大飯、小浜間の国道昇格促進
 二、国道一六二号線延伸区間の改良促進
 (阿納・田島間改良促進、世久見トンネルの早期完成)
 三、国立少年自然の家の建設
 四、一六二号線尾須の鼻、飛川地籍、友愛園前の視巨改良
 五、果道青井・中井線の改良
 六、南川及び流域の環境整備

小浜・上中

一、湖西線の上中経由小浜線乗り入れ
 二、京都小浜自動車道の建設
 三、果道上中へ小浜線の整備促進
 四、松くい虫広域防除の推進
 五、一般河川北川改修整備促進対策

常任委員会

建設常任委員会

委員長 寺本久雄
 副委員長 森下 昭
 委員 中島輝昭
 小川多嘉士
 辻 与太夫
 今島寿夫

産業経済常任委員会

委員長 尾上真一郎
 副委員長 河南保二
 委員 小室六兵衛
 横山政直
 藤田清志
 小谷清章
 石橋修二

教育民生常任委員会

委員長 松崎茂明
 副委員長 深谷嘉勝
 委員 中澤吉次
 伊勢謙次郎
 木橋正昭
 三國正二

